

評 価 基 準 表

- 1 評価対象は企画提案書、見積書及びプレゼンテーションにおける説明内容とし、選定審査委員会の委員（委員長を含む、以下「委員」という。）1名あたり、100点満点による評価とする。ただし60点を基準点として、委員の過半数の評価が基準点に満たない場合は失格とする。
- 2 選定審査委員会は、各委員の採点の合計点が最も高い者を優先交渉権者とする。各委員の採点の合計点が同じ場合には、最高得点をつけた委員の数が多い方を優先交渉権者とする。最高得点をつけた委員の数が同数の場合には、選定審査委員会の合議により優先交渉権者を決定するものとする。
- 3 参加希望者が1事業者のみの場合は、委員の過半数の評価が基準点を満たしている場合に限り、当該事業者を優先交渉権者に決定する。

※見積額の評価は、税込み価格で行う。

評価項目	評価の基準	配点
1 業務実施体制及びスケジュール	本業務の内容を着実に履行するため、実施体制（配置予定者の実務実績、作業フロー、工程計画等）が具体的に設定され、無理なく実行可能か。	10
2 業務実績	こども計画を策定するにあたり、子ども・子育て支援事業計画策定業務等のこどもに関する計画策定に関する十分な実績を有しているか。	5
3 アンケート調査（ニーズ調査）・分析	国の動向、本市の特徴、課題を捉えた効果的な調査項目が設定できる提案となっているか。	10
	調査方法や回収率向上の具体的な工夫や提案があるか。	10
	調査結果等を計画策定にどのように活用するか等、効果的な手法等について提案があるか。	10
	ニーズ把握や事業量の推計等、施策の提言を行うための適切な集計、分析手法となっているか。	10
4 計画の編成・策定	本市の子育て支援施策に関する現状や課題、国の動向等を的確に捉えた課題分析がされているか。	10
	こども基本法に基づく計画の策定及び各種計画の統合を踏まえた施策体系案が提案されているか。	10
5 子ども・若者の意見の反映	子ども・若者の意見を聴取し、整理・分析・活用するための有効な手法が提案されているか。	10
6 会議支援	こども計画策定に関する会議における、資料作成、助言、会議録作成など、事務的な支援ができるか。	10
7 業務見積書	見積書の価格が、提案書の内容に対して妥当であるか。	5
合 計		100